寄手の勢う浜炮を揃へて攻めたれば城にも浜
炮を出して応戦す南石垣口の部新兵衛を深入り所
を情て蔵に敵に降る新兵を城に迎入れ初めて相
手にして出でて戦ひ敵の兵数の備を見
渡すに城より三所斗り大篝を焚きて兵二百斗五所程
の宿に相詰る八二百斗の外に城内門左門河原に水軍
新兵衛千三百余人にて上野を持て高く城内望
遠に相詰たの方は方に八二百武者相詰て千百余人に過
ぎぬ城内方は者共きく年の程二十七八斗なる男の
逞敵て黒駒に乗て麾を持て相詰るいづれも宗徒の兵
共と見へて初更兵粮を喰す原八尾
手の方に陣を取て城内の軍勢を待て
命の大勢こうらば四方の勢八方の手を開く
英徒方は若く命の大勢八未々の組勢と見えて
男女共に赤き命て英て敵の勝の中を後を取
城へ入らんと揃て又命の大勢と鎬ひ味方敗て一息
休み処へ入替て揃合て加へんとするなり